

平成 30 年度 関西女子短期大学 卒業証書 学位記授与式 学長式辞（全文）

卒業生の皆さん、本日はご卒業、誠におめでとうございます。本学における2年間あるいは3年間の課程を、研鑽の甲斐あって無事終了され、本日ここにご卒業の良き日をお迎えになられたことを、心からお祝い申し上げます。同時に、ご家族の皆様におかれましても、これまで育てられた20年間の毎日を思い出されると、その喜びは言葉では言い表せないほどに大きく、すばらしいものと拝察いたします。誠におめでとうございます。また、ご来賓の皆様におかれましては、年度末のお忙しい時期に、本日のこの式典にご臨席を賜りまして、心からお礼を申し上げます。ありがとうございます。



「降る雪や 明治は遠く なりにけり」で有名な俳人 中村草田男は8年間も大学に在籍しており、大学に在籍中に本格的に俳句を始めています。中村草田男は、卒業に関する俳句を2句残しています。1つは、「夜（よ）すがらの 卒業の歌 暁（あき）に冴え」で、もう1つが「校塔（こうとう）に鳩多き日や卒業す」という句です。前の句が「卒業を祝う歌が一晩中聞こえていたが、夜が明けるころが最も澄んで美しい」というもので、あとの句が「大学の時計台に多くの鳩が集まった日に卒業しました」というものです。2句とも卒業の雰囲気がよく分かる、素晴らしい俳句です。皆さんも、卒業の感動を、俳句なりポエムなどの言葉で表現してみるのはいかがでしょうか。

さて、卒業生の皆さん、本学で過ごされた2年間あるいは3年間の学園生活は満足できるものであったでしょうか。Enjoy できたでしょうか。新しい制服に身を包んで、目を輝かせてこの講堂に集まれた入学式の日のことを覚えておられるでしょうか。あの日、皆さんは、専門職に就くという夢を実現するために必要な知識と技術だけでなく、それをさらに発展させる判断力や表現力をこの大学で身に付けたいと誓われました。その志を達成することができたでしょうか。専門職になるという夢はもう目の前にあります。

私は、皆さんがこの大学に在籍中、専門職になるために、これまで経験をしたことがないほど勉学に励まれたことを知っています。しかし、あれほど勉学に励まれたあなた方でも、専門職として働いている内に仕事の壁にぶつかり、「自分は何もできない」と絶望感にとられる事があります。その壁にぶつかった時が、あなたが専門職として一步前進する時なのです。その壁に何度も突き当たり、それを1つずつ克服して、初めて多くの人から敬われる専門職になれるのです。短期大学士になり、専門職の資格を得たという現状に満足せず、常に精進していただきたいと思っています。

昭和の前期に活躍した松本竣介という洋画家がいます。都市の景観を描いて高い評価を得ていましたが、36歳という若さで亡くなりました。この夭折した松本竣介に対して、盛岡中学校以来の友人で「長崎26殉教者像」で有名な彫刻家 舟越保武（ふなこし やすたけ）が、哀悼の言葉を、故郷の新聞である岩手新報に載せています。

『水晶のような男だった。 透明な結晶体のような男だった。
適確な中心を得て円満であり、しかもその稜（かど）は十分に切れる鋭さを備えていた。
類（たぐい）なくさえた画家だった。
美について底の底まで掘り下げて語り合える これは得難い友であった。
言葉すくなく意味深く、切るように話のできる友であった。』

洋画家と彫刻家と、分野は違うものの、同じ美術家としての一生を送った同級生の心温まる追悼文です。

ところで、この2年間あるいは3年間で共に過ごされた同級生に、ベストフレンドはできたでしょうか。卒業後の生活においては、職業に関連する多くの困難や障害に遭遇します。その時に、同じ職業に就いている親しい同級生の存在は、本当に頼りになります。仕事の悩みを打ち明けるだけでその悩みが解消することもありますし、解決策を suggest してくれることもあります。同級生の友達を大切にしてください。

経験の少ない貴女たちにとって、遭遇するすべての問題をうまく解決することができないこともあります。その時は、必ず大学で習った基本に戻って下さい。大学は専門職になるための基本しか教えません。しかしこの基本をおろそかにすると、問題点が不明確になり、問題が解決できなくなります。大学で習った時には分かったつもりでいても、専門職の現場に出ると、その基本が十分に理解できていなかったことに気付くことがあります。その時は、大学に戻って来て下さい。いつでも、貴女たちの立場になって支援します。この関西女子短期大学があなた方の母校であり、いつでも貴女たちを喜んで迎えることを覚えておいて下さい。我々教員は貴女たち卒業生に対して常に Welcome であることは知っておいて下さい。

世の中には、偉い人がたくさんおられます。偉い人というと、皆さんはノーベル賞とか文化勲章を受章された著名な先生を思われるかもしれませんが、世の中には、著名ではありませんが、多くの人に感謝されている偉い人がたくさんおられます。本学を卒業され、それぞれの道で研鑽された多くの卒業生の中にも、多くの人から感謝されている方が多くおられます。私は、皆さんが、有名ではないかもしれないが、多くの人に感謝される人になっていただきたいと思っています。

卒業生の皆さん、平均的に言いますと、貴女方はあと70年は生きることになります。この70年間で実りあるものになるかどうかは、大学卒業後の10数年間を貴女達はどう生きるかにかかっています。これからの20年間は、よく考えて生きてください。

最後になりましたが、今日のこの卒業式に出席された卒業生、卒業生の保護者の皆さん、来賓の皆さん、教員ならびに在学生の皆さんの健康とますますのご発展を祈念して私の式辞とさせていただきます。

平成 31 年 3 月 18 日
関西女子短期大学 学長 大嶋 隆